

尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想策定支援業務  
プロポーザル審査結果

1. 審査（プレゼンテーション審査）

参加資格を満たした1事業者に対してプレゼンテーション審査を行い、選定基準を満たしていたので、受託候補者として特定した。

（受託候補者の評価得点の内訳）

得点（配点）	合計	平均（合計／4人）
実施体制（20点×4人）	51点	12.75点
企画提案（70点×4人）	165点	41.25点
価格評価（10点×4人）	36点	9.00点
評点（100点×4人）	252点	63.00点

（審査項目及び評価基準）

審査項目		評価基準	配点
実績体制	業務の実績	本業務履行に資する実績、経験を有しているか評価する。	20
	業務実施体制	業務履行に向けた適切な業務実施体制が確保されているか評価する。	
企画提案	現状認識の的確性	小松市全体及び尾小屋町周辺、並びに尾小屋鉱山資料館に関する閲覧可能な資料（インターネット上の情報収集を主としても可）を踏まえ、それらの独自性や特性、現段階の課題等を多様な視点からの的確に分析しているか評価する。	70
	業務実施方針及び留意事項の適正さと提案事項の有	尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想策定委員会の運営実施支援について、方法、内容等が妥当であるか評価する。	
		「尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想」（案）の検討・整理について、現状と課題を踏まえ、独自の視点が盛り込まれているか評価する。	
		「尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想」（案）の作成について、方法、内容等が妥当であるか。独自の視点が盛り込ま	

	用性	れているか評価する。	
		その他自由な提案について、有用性があるか評価する。	
	業務工程の妥当性	業務全体の計画は実行性のあるものか。また業務工程に無理がなく、妥当であるか評価する。	
	プレゼンテーション	取り組み意欲が感じられるか評価する。 質問に対し、明快かつ誠意ある応答ができるか評価する。	
価格評価	費用対効果	企画提案書と見積内容の整合性がとれており、価格が妥当なものであるか評価する。	10

(審査委員からの評価コメント)

審査項目	主な評価内容
実施体制	<p><u>〈業務の実績・経験について〉</u></p> <p>○地域の歴史的資源を活用した施設運営や官民連携による事業スキームの組成実績を有するなど、これまでにない視点での取り組みが期待できる。</p> <p>○類似の地域の活性化構想を手掛けた事例をはじめ、建造物の活用やまちづくりなど、実績が豊富であることから、これらの成功事例を踏まえた事業の実施が期待できる。</p>
企画提案	<p><u>〈小松市全体及び尾小屋町周辺、並びに尾小屋鉱山資料館に関する認識について〉</u></p> <p>○尾小屋町周辺、並びに尾小屋鉱山資料館に関する認識については、現地調査を通じて的確に課題を把握している。</p> <p>○構想の具体化に向けては、どの場所のどのような資源をどこまで整備するのか、より踏み込んだ調査と現状把握が必要であり、そこがやや不足している。</p> <p>○五感での体験性や双方向性を高めることは非常に大切であり、内容を刷新しても一度見ると再度見ることがない、あるいは内容や特徴がそもそも伝わらない・伝わりにくいことが多々ある。ストーリーを伝える手段の充実について、資料館単体ではなく、尾小屋町、西尾地区の</p>

	<p>地域資源との連携の必要性を把握している。基本構想の中で具体的な調査、提案を期待したい。</p> <p>○カラミ遺構の文化的価値を一つの地域資源に位置付けている点は評価できる。構想策定の限られた時間の中で、どのように調査、評価していくかさらに具体的な提案があるとよい。</p> <p><u>〈構想策定委員会の運営実施支援について〉</u></p> <p>○文化資源の価値を効果的に伝える展示構成、訪問者の興味を惹くストーリーテリング等、展示の魅力を高めるための「キュレーションの視点」の提案があり、具体的な人物の想定もなされている点は評価できる。</p> <p>○策定委員会の開催構成については、具体的であり、的確であると感じる。</p> <p><u>〈「尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想」(案)の検討・整理について〉</u></p> <p>○提案のターゲット設定は想定範囲を超えていないと感じる。小松空港立地や北陸新幹線開業を踏まえた海外からの来訪者のさらなる拡大、20歳から30歳の若年層へのアプローチ及び可能性についての提案があるとよかった。文化観光の視点から、県外や外国人などの観光客が、訪れたいくなる仕掛けづくりが必要不可欠であることをしっかりと認識してほしい。</p> <p>○ダークツーリズムをどのように扱い発信していくのか、具体的な提案があるとよい。</p> <p>○近年整備された遊泉寺銅山や、全国の鉱山との差別化や連携方策を含めた提案があるとよかった。</p> <p>○過疎化・高齢化が極度に進み地域人材が不足する地域に新たな行事を設けて参加させることはとても難しい。そこにおける持続的な活性化を、資金的にも人材的にも可能ならしめる構想が必要であり、その点に関して過去の実績・経験からより説得力ある提案がほしかった。</p> <p>○エリア全体の賑わいを創出するための大きなコンセプトが明確に提示されていなかった。構想の策定にあたっては、エリアの魅力を高める目玉となる提案がほしい。</p> <p>○「行きたくなる田舎、住んでみたい田舎」、そこに人が行きやすい、行きたくなる、途中においしい店がある、キャンプ場もある、スキー場もある、福井にも抜けられる、そんなふうに見どころが随所にある、将来移住してくれるような環境も整えた、そんな田舎をゆっくり考えるべきではなかろうか。</p>
--	--

	<p><u>〈その他自由な提案について〉</u></p> <p>○小松市全体の魅力向上を目的として、日本遺産全体との連携は重要。 「Komatsu 九」を日本遺産の回遊の中心拠点として位置づけ、観光客に日本遺産全体の魅力を紹介するための具体的な提案を期待したい。</p> <p><u>〈プレゼンテーションについて〉</u></p> <p>○質問に対する回答が長い部分があったが、取組み意欲は十分に感じられる。</p>
--	--